

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372001756
事業所名	グループホーム 尽誠苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 日課となっている散歩で、近隣の人と会えば挨拶を交わしている。法人内の盆おどりやいきいき祭りには、地域の人が参加している。実習生や中学生の職場体験の受入れを行い、地域に貢献している。カラーセラピー、三味線、バンドなどのボランティアが、法人内に来訪しているのでグループホームからも参加している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヶ月ごとに年6回行われている。主な出席者は民生委員、社協職員、家族などである。グループホームのリビングで行うので、利用者の様子も見てもらっている。法人行事の案内をして、参加の依頼もしている。近隣の事故や事件について話し、地域全体で注意するよう話し合っている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 法人の担当者が窓口として、市町村と連携を取っている。市の「徘徊見守りSOSネットワーク」に登録しており、協力体制ができています。市の主催する研修（高齢者権利擁護推進委員養成など）にも参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の来訪は毎日の人もいますが、遠方の人が多く手紙や電話で状況を知らせている。手紙は毎月写真付きで利用者の日常の様子がわかるようにしている。また、来訪された家族によくわかるようにそれぞれの居室の前には、行事の時の写真を大きく引きのばして、表情がわかるように工夫している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。